

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月03日

計画の名称	新見市宅地耐震化推進事業													
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	新見市													
計画の目標	大規模盛土造成地（第一次スクリーニング）で抽出された箇所を対象に、第二次スクリーニング（現地踏査、優先度判定）の計画を作成する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R4末
1	第一次スクリーニングで抽出された箇所について、第二次スクリーニング計画（現地踏査、優先度評価）を策定する。			
	第二次スクリーニング計画（現地踏査、優先度評価）を策定した箇所数	0箇所	箇所	14箇所
	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成のうち現地踏査、優先度評価を実施した箇所			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	新見市	直接	新見市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画策 定（現地踏査、優先度評価）	新見市	■	■				4		-	
												小計						4		
											合計						4			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

新見市都市整備課により事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和5年10月

公表の方法

新見市ホームページ掲載により公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、基礎資料をもとに現地踏査、優先度評価を実施し、第二次スクリーニング計画を策定し、安心して暮らせる地域づくりに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

新たな社会資本総合整備計画（大規模盛土造成地における宅地耐震化の推進（防災・安全））により、引き続き調査を進める予定としている。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	14箇所	
	最 終 実績値	14箇所	